

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成27年1月22日 (2015.1.22)

【公表番号】特表2014-507175(P2014-507175A)

【公表日】平成26年3月27日 (2014.3.27)

【年通号数】公開・登録公報2014-016

【出願番号】特願2013-542601(P2013-542601)

【国際特許分類】

A 6 1 B 18/18 (2006.01)

A 6 1 B 18/12 (2006.01)

H 0 5 H 1/24 (2006.01)

H 0 5 H 1/46 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/36 3 4 0

A 6 1 B 17/39 3 1 0

H 0 5 H 1/24

H 0 5 H 1/46 R

【手続補正書】

【提出日】平成26年11月28日 (2014.11.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 0 2】

最後に、この装置は、外部ソース 1 0 1 8 からのパワー（たとえば電源電力）を受けこれをこの装置内の構成要素のための D C 電源信号 V<sub>1</sub> ~ V<sub>6</sub> に変換する電源部 1 0 1 7 を含む。よって、ユーザインターフェイスはパワー信号 V<sub>1</sub> を受け、マイクロプロセッサ 1 1 0 はパワー信号 V<sub>2</sub> を受け、R F 列 1 0 2 はパワー信号 V<sub>3</sub> を受け、マイクロ波列はパワー信号 V<sub>4</sub> を受け、信号調節汎用インターフェイス回路 1 0 8 はパワー信号 V<sub>5</sub> を受け、監視部 1 0 1 5 はパワー信号 V<sub>6</sub> を受ける。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 4 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 4 0】

同様に、可変インダクタ 2 0 4 は、キャパシタ列 2 0 1 の遠位端にある変圧器 1 7 5 の二次コイルに対して並列（シャント）接続される。この例において、可変インダクタ 2 0 4 は、独立してこのチャンネルに切換えるまたはこのチャンネルから切換えることができる複数（この場合は 4 つ）のインダクタ 2 0 6 を含む。各インダクタ 2 0 6 は関連するバイパススイッチ 2 0 8 を有し、これにより、対応する巻線 2 0 6 の始点および終点を短絡させるまたはバイパスすることができる。バイパススイッチ 2 0 8 は、コントローラ 1 0 6 からのそれぞれの制御信号 C<sub>5</sub> ~ C<sub>8</sub> によって機能する。インダクタ 2 0 6 は異なるインダクタンスを有してもよい。たとえば、システムを整合させることができる可能な負荷インピーダンスにできる限り大きな変動を与えるために、すなわちスミスチャートにできる限りカバーするために、バイナリシーケンスで配置された 1 x、2 x、4 x および 8 x ベースインダクタンスとして配置してもよい。